

「2022年地域医療の現場研修」感想

<ul style="list-style-type: none"> ・ バイトや部活などで、様々な人と交流を深めることで、自分にはなかった価値観や見方が見えてくると思うので、学生生活ではそこら辺を意識して生活していきたいと思いました。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域医療の定義の難しさを改めて実感するとともに、その大切さを身にしみて感じました。そして、医師の先生方に学生のうちにやっておくべきこともお聞きできて貴重な機会となりました。小林先生もおっしゃっていましたが、今のうちから色々なものに触れて社会を知りたいと思います。また、地域医療は医師中心ではなく患者さんの価値観を中心にするというところに地域医療の魅力を感じました。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際に働いている医者の声を聞かないとただ座って勉強しているだけでは地域医療や医療というもののイメージはわからないんだなと改めて思いました。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の持っていた地域医療に対するイメージと、実際の先生方が感じていることの違いなどを学べて非常にいい機会になった。地域社会と結びつけた医療をする医者を目指そうと思った。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「地域医療」が「医学」に含まれているのではなく、「医学」「医療」が「地域医療」「地域」に含まれているという考え方を伺い、非常に納得させられた。医学に向き合うのも大事であるが、それを用いて救うべき本態の方に関心と熱意を向けるべきだと強く思った。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域医療に直接関わっている先生方のお話を聞けて、具体的な関わりを知ることができたのがとても良かったと感じました。 地域医療というものの捉え方を見直しながら、多様な視点を持つことの大切さを理解できました。
<ul style="list-style-type: none"> ・ お忙しい中時間を持って頂き、本当にありがとうございました。やはり、実際に働いている医師の方々が私たち学生に対して直接仕事についてお話をしてくれる機会というのはとても貴重であるので、たくさん現場のお話を聞くことが出来てとても嬉しかったです。地域医療は医療の一部ではなく、地域の一部である、という言葉を忘れずにこれからも学んで行きたいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 先生方の話を聞いて、自分の見識を広げていくことの重要性を感じた。また、小林先生のお話からは、患者の方との話や仕事の中、また先輩医師の言葉からさまざまな関心と経験を生んでいくことを意識していきたいと感じさせられた。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 関口先生がおっしゃっていたことで、医学部は他学部と関わる機会が少なく学生時代は多様な価値観を知ることができないが、医者になると様々な患者さんと関わるため、学生時代に様々な人と積極的に関わっていくことは一番大切なことだと思った。私は昔から積極的に声をかけるタイプではなかったからこれは難しいことではあるが実行することを日々意識していきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回的小林先生のご講演を聞いて、特に印象に残ったこととしては、知っていることが増えることで知らないと自覚できることが増えることです。また、学生自体にやった方がいいこととして自分の関心があることに対して行動することが挙げられていたので、医師になった後はもちろん、学生の時から様々なことに興味、関心を持って知っていることを増やしたいと思いました。また知らないことに対しては謙虚になり、プライドや先生という立場を捨てて、知らないと言えることが大切という話を聞いて、様々なことに関心を広げることに加えて、謙虚な姿勢ということも大切にしたいと思いました。

・ 地域医療や総合診療について知る機会になってよかったです。
・ 総合診療科についても含め地域へどう貢献するかとても勉強になった。
・ 長野県の貸与者というところに対して私は消極的になってしまっていたのですが、逆に地域医療について学外で知る機会になると改めて思いました。大学でもアンテナをはり、さまざまなことに興味をもちたいと思います。
・ 地域医療について、今まで知らなかった考え方を学ぶことができたのでよかったです。
・ 主治診療所というような表現がおもしろいと感じました。同じ地域枠の学生と話をできたのがおもしろい。
・ 実際に給付金貸与を受けていた先生方の働き方などを知れて、自分の将来について想像が少しだけ出来た。
・ 実際に貸与を受けていた先生のお話が聞けて、とても貴重な機会でした。
・ 自分の働き方を確立し、常に自らの手の届く領域を広げて地域住民に密着した医療に携わる医師のお話を聴けて、とても勉強になりました。
・ 総合診療科に対する認識が深まりました。興味を持ったことにチャレンジする精神や自分の現状をポジティブに捉える態度を大切にしたいと思うようになりました。
・ 地域医療の意味を考えることが出来、これから的学生生活の過ごし方なども考えてよかったです。
・ 沢山の貴重な話を聞くことができてよかったです。おふたりの熱意が伝わってきました。
・ これからいろんなことを関心を持って勉強していきたいと思える会でした
・ 地域医療について深く考えるきっかけとなりました。今は医学部の専門的な講義で必死なのですが、臨床に必要なのは広い視点で物事を見ることであると感じました。そのためにはさまざまなコミュニティに属することが挙げられるため、今後の学生生活にも活かしていきたいと思いました。
・ 修学資金貸与の先生のとても貴重なお話を聞くことができて良かったです。地域医療についてや、物事に対する捉え方の重要さについて知ることができました。地域枠をプラスに捉えて、それをどのように生かしていくかを考えていこうと思いました。
・ 地域医療について実際の先生がどんなことを考えているのかを学べた
・ 患者さんの話に驚きを持つということが大切である、と小林先生がおっしゃっていたことが印象的でした。